

あつぎ郷土博物館NEWS 4月号

好評
開催中

「依知地域展」(3/29~6/25)が始まりました！ 上依知 妙傳寺の文化財 1

「依知地域展」が始まりましたが、ご覧いただけただしょうか。博物館が一つの地域に取り組む「地域展」も2回目となり、各分野で、地域の目玉となる依知地域の「お宝」を取り上げます。

まずは厚木市の有形文化財に新たに指定された「弁財天十五童子像」(5月7日まで展示)をご紹介します。

上依知・妙傳寺に伝わる「弁財天十五童子像」は、室町時代末期から江戸時代前期にかけて描かれたものと推測されています。現在、市内に残るものでは最古の絵画です。立ち姿の弁財天の左右にだいこくてん大黒天とびしゃもんてん毘沙門天が配され、頭頂部にはうがじん宇賀神とともに鳥居が描かれています。

また、弁財天が立ついわさ岩座の下に、そくたいすがた束帯姿の男神とからぎぬ唐衣の女神が小さく描かれていることが、この仏画の大きな特色です。二神を加えて描いた事例は、極めて稀です。展示会場で、束帯姿の男神と唐衣の女神を探してみてください。



私たちを見つけれらる
かしら？



その他、江戸時代後期の地誌『新編相模国風土記稿』に日蓮が自ら香を練って作ったと記された「大黒天像」を弟子・日親によるきわめがき極書とともに展示します。

5月8日からは、今年の干支、卯にちなみ、ウサギが描かれた仏画に展示替えの予定です。寛文5年(1665)に起こった2度目の星下りを描いた掛軸など仏画を中心に妙傳寺所蔵の文化財をご紹介します。

文化財保護課(博物館) 4月の予定

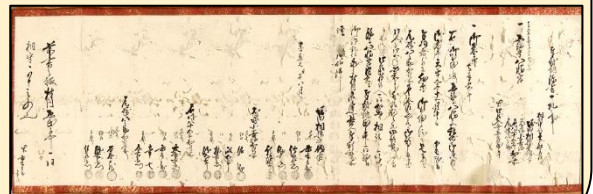
日	曜日	行事内容	講師等	時間
博物館が一つの地域に取り組む「依知地域展」が始まりました *4月2、9、16、23日14時から、日曜ギャラリートークを実施!				
13	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会 会員	13:00 ~16:00
20	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会 会員	13:00 ~16:00
24	月	休館日		
27	木	あつぎの古文書学習会 参加自由	古文書解読会 会員	13:00 ~16:00

あつぎの
指定文化財

●厚木にもあります **家康** 関連の文化財

今回は船子八幡神社に伝わる徳川家康朱印状を紹介いたします。天正19年(1591)11月、徳川家康が相模国内の寺社に宛てて92通もの朱印状を出しました。船子八幡神社に伝わる家康の朱印状は、その内の一通です。内容は社領として八幡神社に一石五斗を寄進し、武運長久を祈るよう命じたもので、「福德」の朱印がおされています。

明治時代、朱印状は、政府によって提出を命じられたため、地域に残っていないことが通例で、原本が残されていることは極めて貴重です。この朱印状には、慶応元年(1865)8月に八幡神社本殿に納めた際に船子村の村役人連名の添え書きが添付されており、来歴がわかる資料となっています。



- あつぎ郷土博物館 **開館時間** 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29~1/3)
- 古民家岸邸 **開館時間** 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25~1/3

※御来館の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、基本的な感染症対策をお願いいたします。



(申込み・問合せ) **あつぎ郷土博物館**
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005